

法医学特論（長谷川 巖）

Advanced Course of Forensic Medicine (Iwao Hasegawa)

キーワード

歯牙鑑定
司法解剖
警察署長権限解剖
個人識別
画像診断

関連する学位授与方針
DP(ディプロマポリシー)

①,②,③,④,⑤

関連する教育実施方針
CP(カリキュラムポリシー)

①,②,③,④,⑤,⑥

授業概要

法医学の知識及び実技レベルを、博士にふさわしい水準まで深く掘り下げ、また高水準に引き揚げ、学位取得に必要な知識を修得する。

授業科目の学修目標

博士の水準にふさわしい法医学分野における知識と手技を修得することを目標とする。

授業計画

担当者:長谷川 巖
(各6コマ)
1)歯牙鑑定
2)法医解剖(司法解剖、警察署長権限解剖)
3)医療関連法規
4)物体鑑定
5)生体鑑定

教科書および参考書

標準法医学 第7版(医学書院)

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

事前に参考書籍を読んでおくこと。

大学院生が達成すべき行動目標

- 1)歯牙鑑定を説明できる。
- 2)法医解剖を説明できる。
- 3)医療関連法規を説明できる。
- 4)物体鑑定を説明できる。
- 5)生体鑑定を説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	50%	0%	0%	50%	0%

評価の要点

- ・レポートは、授業計画に記載された各1)～5)の項目について課題を提出する。10%×5回=50%
- ・口頭試問は、授業計画に記載された各1)～5)の項目について知識の理解度を判定する。10%×5回=50%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。特に、医療関連法規の事項に関しては100%の理解を求める。